

にして皆様にご審議していただく事となります。
ガバナーの公式訪問が当クラブの二週目の例会日に開催されます。各委員長さんには早い時点での事業計画の提出が必要となります。そして早急に現況報告書の作成にとりかかる事になりますのでご協力の程、お願い申し上げます。
次に家庭会合の件です。渡辺ガバナーエレクトは地区運営方針の中で『楽しく』を掲げております。そして家庭会合の活発化を提唱しています。そんな事から、私の年度は家庭会合をメンバーのお宅をお借りして実施させていただきたいと考えております。ご家庭を提供されるメンバーには大変ご負担と

ご迷惑をお掛けしますが『是非とも我が家を』とお考えのメンバーはご連絡下さい。
次に、ロータリー財団及び米山奨学金の寄付について渡辺ガバナーは日本一を目指すといっております。我がクラブでは中條年度と渡辺年度で寄付実績に大きな差があつてはいけないと考えておりますので今年度と同じ位の実績をメンバーの皆様をお願いしたいと考えております。
以上、色々なお願い事を交えまして P E T S の報告と致します。
今後ともご指導とご協力をお願い申し上げます。

4月のお祝い

誕生日			結婚記念日		
会 員		ご夫人			
梨木 建夫	2	早川 町子	1	落合 益夫・千鶴子	3
金子太一郎	7	柄沢 佑子	1	丸山 達夫・淑子	11
今井 克義	10	安田 夏江	5	佐藤 文夫・君子	15
白倉 昌夫	17	高橋 淳子	30	羽賀 一夫・芙美子	19
堀川 正幸	21			星野 義男・雪枝	20
米山 忠俊	22			堀川 正幸・美智子	25

食べ残しの話し 永井泰雄（高山 R C）

食品の廃棄物が年々増加しているとよく言われますが、京都市の家庭ごみの調査（ある大学教授による）の結果、全く手をつけていない食品が 9～14%あり、そのうちの 6 割がまだ賞味期限内だったそうです。これだけみても、大変もったいないことをしているな、と思うわけです。
よく、人は簡単に手に入るものは簡単に捨てる、というようなことを言いますが、食品も変わらないのかと思います。それと同時に、食べ物の約 3 割が捨てられているという数値もありました。
また、2002 年の環境省の数値によりますと、国内の調理くずとか、食べ残しの食品廃棄物が年間 2,000 万トン以上あるそうですが、同じ 2002 年に世界各国から発展途上国への食糧支援がおよそ 800 万トンであり、約 3 倍の物が日本国内で捨てられていることになっています。その後、丸 3 年以上たっていますので、まだまだ増えているのではないかと思います。私が読んだ書き物には、「食べ残しは悪であるということ、もう 1 回考えなければならないのではないか、」と書いてありました。
一人ひとりが自分の食べられる範囲内で食べ、捨てていくことに気をつけないといけないのではないかと、と考えながら、このような運動が広がらないものかと思っています。
（ロータリーの友より抜萃）



例会日 2007.3.27 累計No.983 当年No.36

三条北ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第 2560 地区ガバナー 中條耕二

例会日：火曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX 34-8114
事務局：三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内 TEL 35-7160 FAX 0256-35-7488

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

本日の出席：64名中46名
先々週の出席率：64名中50名 78.13%
前年同期80.33%

先週のメイクアップ：
3月24日ガバナー連絡会議(新潟)
中條耕二さん、斎藤 正さん

オブザーバー：
高森武志さん（4月入会予定）
山岸早瀬さん（R財団親善奨学生）

行事：
「会長・幹事エレクト研修
報告会」



2007-08 年 R I テーマ

会長挨拶：小林 満会長

25 日、日曜の朝 9 時半頃、石川県能登半島で震度 6 強の地震が発生しました。
がけ崩れ、家屋崩壊そして死傷者もたくさん出ており、心が痛みます。
新潟中越大地震の時もそうだったように体感できる余震は数百回を数えています。
避難生活の状況をテレビ、新聞報道等で見るとき、何か人事ではない、そんな気がしております。
本日は去る 17 日に新潟で開催されたペッツ、会長幹事エレクト研修の報告会です。
山中 正さん、小林 繁男さん、大変ご苦勞様でした。宜しくお願い致します。
入会予定者の高森 武志さんが例会にお出でくださいました。北クラブ 60 有余名会員みなさん、あなたの入会を待っております。R 財団、国際親善奨学生の山岸 早瀬さんが近況報告に来てくれました。心より歓迎いたします。
2560 地区 06－07 年度、石本地区会員増強委員長から 3 月 16 日に書類が届きました。
1 月末日までの当地区の会員純増状況は“全国 34 地区中、第一位”の座を維持しており、6 月末の年度終了事での推定純増数は三条東

クラブのチャーターメンバーを別にしても 100 名余りが見込めるとのことです。ただ 4 月からの 3 ヶ月間は例年、人事移動等の関係か会員減少が多い時期なんだそうで、増強に対して手を緩めることなくしっかり頑張れとの指示も来 ております。我がクラブでは 4 月に本日おいでの高森さん、5 月に坂井さんの入会が予定されておりますので、年初にたてた私の会員増強方針、純増 4 名をクリアし、7 名になることは誠に喜ばしく、ひとえに佐藤 弘志増強委員長をはじめ会員皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げる次第です。春分の日 21 日、三条市では成人式が行なわれました。私は東クラブのゴルフコンペに参加致しました。私のスコア成績はたいしたこと無かったのですが、北クラブ 10 名参加中、結果的に優勝から上位 5 名を我がクラブ会員が独占してしまったことについて、いささか申し訳ない心持ではありますが、加賀苑さんで行なわれた 19 番ホールでは皆さん笑顔、笑顔で大変楽しく、大いに親睦が深められましたことに対し心からお慶び申し上げたいと思っております。 幹事報告：本間（重）幹事 ・米山梅吉記念館より 100 円募金及び賛助会入会のお願い ・三条市成人式サポート委員会より 新成人応援イベント協力の御礼 ・渡辺 G B エレクトより エレクト研修セミナー出席の御礼 2007－08 年度 G S E 派遣メンバー募集のお願い 派遣先 アメリカアリゾナ州 R I 551 地区 実施予定 2008 年 5 月 10 日～6 月 7 日 募集締め切り 2007 年 6 月 29 日（金）		
ニヨニヨBOX：27日現在累計1,022,000円		
小林 満君	山中会長エレクト、小林幹事エレクト、ベッツ大変ご苦勞様でした。入会予定者の高森さん、R 財団親善奨学生 早瀬さん歓迎いたします。	募金をします。
本間 重満君	〃	大野 新吉君 先日の能登沖地震、又又中越地震の再来かとビックリ……。例によって我が家の水槽の水チャップンチャップン“カミ”さん曰く「やっぱり水槽やめろって……」
米山キクエ君	〃	山中次年度会長、研修ご苦勞様でした。本日は報告宜しく申し上げます。
山上 茂夫君	災害もなく生活できる事を感謝し、被災者の皆さんの為にささやかな	

堀川 正幸君	やっとな春めいて来ましたネ。今里山は雪割草やカタクリの花が満開です。ちょっとは遊びに出てみてはいかがですか！
馬場直次郎君	先日の地震にはびっくりしました。自分達も 2 度にわたりいろいろな災害を受け、被災した人達の苦しみは痛いほど解ります。少しでも協力できたなアと思っています。
星野 義男君	山中会長エレクトに感謝して！！
阿部 勝子君	やっとな春らしくなりずっと続いてくれるといいなあと思います。本日

3 月 17 日クラブ会長エレクト研修セミナー、P E T S に参加して

 会長エレクト 山中 正	《私にとって興味深い P E T S 》 会長エレクト研修セミナー（以下、P E T S ）が先般の 3 月 17 日ホテルオークラ新潟に於いて開催されました。ロータリアンの手引き『手続要覧』の資格の覧にクラブ会長は（2）として『クラブ会長は会長エレクト研修セミナーと地区協議会に会長エレクトとして必ず出席し、かつ、いつでもクラブを指導し、クラブの事務を執るのに必要な時間と努力を捧げるもの』と記載されています。 私にとっては非常に大きくなのしかかる会長職である事をあらためて実感しました。昨年の 3 月 26 日、中條ガバナー年度の P E T S の開催実行委員長を仰せつかったのが私、山中でございました。ですから渡辺年度の P E T S がどの様に開催されるのか、私にとってはとても興味深いものでありました。《ハードスケジュールの P E T S 》 一日で、あまりにも多くのことを伝達し、研修しなければならない P E T S です。大変ハードです。時間配分およびプログラムの内容については中條年度の P E T S の運営を踏襲していましたが基調講演は現、新発田ロータリークラブ会長の（株）ハードオフコーポレーション、代表取締役の山本善政氏が私にとっての「四つのテスト」と題して 40 分程、講演をされました。普通のパターンですと地区研修リーダーまたはパストガバナーによる講演が一般的と思われますが新発田ロータリークラブの山本会長を使われた事は新しい試みだと思いました。 また、各分区の A G が研修リーダーとなって 7 分区に分かれて開催されたグループ討議も新しい試みでした。これも会場がホテルオークラ新潟という利点があればこそ出来た企画だろうと思います。また A G が研修リーダーになる訳ですから本来の A G の役割を果たす事になる訳です。 《R I 会長の想い》 さて、R I のテーマを『ロータリーは分かちあい
--	---

	の研修報告、山中様宜しくお願いします。
小林 幹扶君	いつも欠席ばかりですみません。三条に居るときは出来るだけ出席しようと思います。本日も早退させていただきます。申し訳ありません。
本間 重満君	東クラブのコンペで優勝させていただきました。
今井 克義君	B O X の隣に座った幸せ（？）に。
本間建雄美君	私事ですみません。早退させていただきます。
丸山 達夫君	B O X に協力

の心』と 2007－08 年度ウィルフリッド J．ウィルキンソン会長は掲げられました。そして『120 万人の会員の間に共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かち合い」という名の精神でできた糸です』と注釈されております。	
そして R I 会長の強調事項としては『識字率向上、水保全保健と飢餓救済、ロータリー家族』の 4 点であると説明されました。	
《渡辺年度の地区テーマ》	
さて、渡辺ガバナーエレクトは地区の運営方針を『ロータリーを楽しく、地区（新潟）を元気に』と掲げられました。『楽しく』とは各例会で、また公式訪問時に隣同士で握手をする事。家庭会合、ファイヤーサイドミーティングを活発化する事。C L P の導入、これは各クラブの組織の簡素化への指導、特に小規模クラブに対してとの事。地区大会などの行事を賑やかにする事。の四点を挙げておりました。『元気に』とは、各クラブのニーズ、要望を地区へ。元気プロジェクトを各クラブに作ってもらう、対外的事業の展開であり、その成果を表彰する。国内外での姉妹クラブの奨励の 3 点を掲げて説明されました。	
そして重点目標は、一つ、会員増強。二つ、ロータリー財団の寄付。三つ、米山奨学金の寄付を掲げ、特に寄付行為につきましては日本一を目指したいと大きな目標を打ち立てられました。	
《ガバナー公式訪問について》	
三条北ロータリークラブへの渡辺ガバナー公式訪問は 7 月 10 日（火）であり、私の年度に入りまして 2 週目の例会日となっております。渡辺ガバナーにとりましては最初の公式訪問先が三条北ロータリークラブということです。これは中條ガバナーに対して敬意を表した事であり、私ども三条北ロータリークラブにとりましても大変名誉ある事です。	
《クラブのみなさまへのお願い》	
私の基本方針は『ひとり一人のロータリーへの想いを大切にしたい』を考えております。いずれ文章	